



森林ボランティア 「オホーツクの会」だより No. 23

冬の自然観察会 和琴半島を歩きました



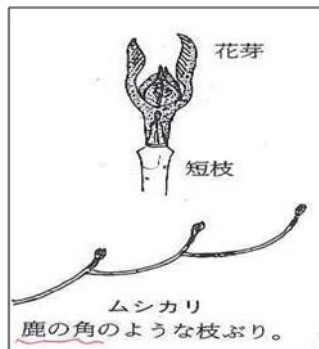
2月24日(日)に行われた冬の自然観察会に会員20名、一般14名が参加し屈斜路湖畔にある和琴半島をスノーシューで散策を楽しみました。

散策は湖岸のコースを歩き約1.2Km 先の水蒸気が立ち込めるオヤコツ地獄までを往復しました。

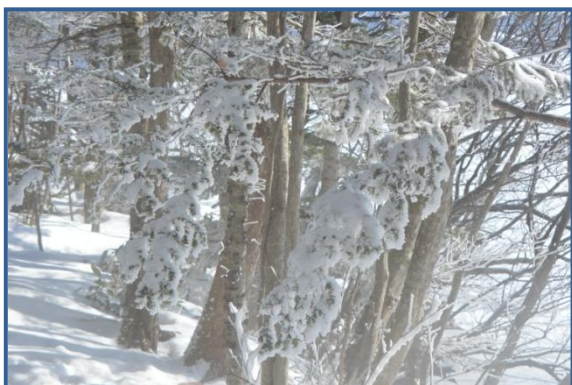
コース周辺は広葉樹を主体とした天然林でカツラ、ミズナラや珍しいアサダの巨木などを見ることができました。

冬の樹木は様々な冬芽で、春の芽吹きを待っていました。

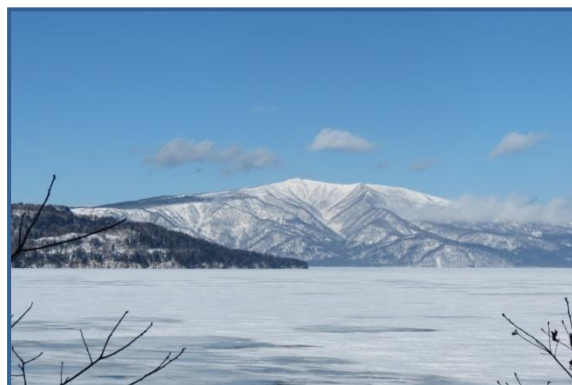
—道中で面白い冬芽を見つけたので紹介します—



オオカメノキの花芽 別名 ムシカリ
(名前の由来：葉の形がカメの姿に似ていること。その葉はよく虫に食べられることから)



見事な霧氷風景



半島から見た藻琴山



和琴半島の足湯



美幌峠から見た屈斜路湖

冬の自然観察会に参加して

松岡 孝



一般に北海道人は、日が短く寒さが長い冬をあまり好まない。ましてや冬の森林散策などは論外と思っていた私が参加をしようと思ったのは以前見たニュースで、真冬の雪山に虫の音が聴けるといった内容が強く印象に残ったことです。

今回の自然観察会にも、“雪山で虫の音が聞こえる”フレーズに“そうか!”あれは和琴半島の事かぁ”と思い参加しました。観察会当日は好天でしたが、そこは山、春が近いとはいえ和琴半島はかなりの寒さでした。慣れないスノーシューを履きオヤツコ地獄を目指し自然観察会が始まりました。

木々の葉に降り積もったパウダースノーが風に舞う中、夏なら葉とか花で少しわかる木々だが冬はどれも同じ木に見え判断がついたのは松の木ぐらいでした。ガイドの方は木々の名前、特徴などスラスラと・・・、そして枝先に拡大鏡をかざし冬芽の特徴などの説明を聞きました。厳寒時期に春の準備を着実に進めている木のたく

ましさを感じました。

印象的だったのがイワガラミ。木に巻きつき共存している姿でしたが、全て共存できるわけではなく大木についての痕跡に“イワガラミが負けた跡です”。

厳しい生存競争が静かな山々で繰り広げられているのを実感しました。途中、湯けむりが漂う露天風呂を眺めながら地熱で雪がない道を進みました。

ようやく着いたオヤコツ地獄では硫黄の匂いが漂ったエメラルドグリーンの温泉が印象的でした。残念ながら虫の音は聴けませんでした

森の生命力を実感した体験会となりました。



勉強会を楽しみました



当初予定していた日程が悪天候のため、延期しましたが、天候回復が見込まれないため、平成25年3月9日、常呂川森林ふれあい推進センターでの室内勉強会となりました。

吉田（昭義）、長谷川、鞆師（和枝）、吉田（正）が集まり「冬の樹木の見分け方」を中心とした資料を基に勉強会をしました。

昼からは、焼き肉店で食事会を開き、自然体験で感じたことなど楽しい話題で盛り上がりました。

今後も「オホーツクの森」など現地での勉強会や意見交換会などを行うことを確認しました。

（次回の日程は決まっていますが多くの参加をお待ちしています・・・一緒に楽しみませんか?）

緑の募金活動へ参加しました

平成25年4月23日、角と吉田（正）が大通パラボ前で、募金活動を行いました。

火曜日で休店の為か人出が少ない中、北見市民の方々の協力をいただきました。

吉田正さんは、「少しの間ではありましたが、良い気分で行われました。会員の方々も宜しければ次の機会は御一緒にどうですか」と言っていました。

森林ボランティア「オホーツクの会」総会 更なる活動の充実を！！



平成 24 年度総会が 3 月 24 日北見市「緑のセンター」で開かれ、活動報告、決算報告、監査報告、平成 25 年度活動計画、予算案が承認可決されました。冒頭、鞆師会長からは「自ら企画し実行する活動が進められつつあり、今後もより充実した活動を進めるとともに、幅広い年齢層も視野に仲間の輪を広げていきたい」との挨拶がありました。

常呂川森林環境保全ふれあいセンター菊地所長からは、「行事等にご協力いただきありがとうございました。今後もふれあいセンターでは支援をしていきたいと思えます。貴会の益々のご発展と会員のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます」とのご挨拶を頂きました。

総会参加者名 鞆師会長、角副会長、吉田事務局長、小原幹事、植村幹事、栄幹事、渡辺、金村、三浦、轡田、長南、小島、吉田、佐藤（真）

常呂川森林ふれあい推進センターからのお知らせ

【ふれあいセンターの名称変更】

これまで「常呂川森林環境ふれあいセンター」との名前で皆様とともに活動してきました当センターは、本年4月より「常呂川森林ふれあい推進センター」と名称を変更しました。

この機会を捉えこれまで以上に、国民の財産である国有林を活用した特色ある活動を行っていきます。

今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【常呂川森林ふれあいセンターの新職員紹介】

岩本 自然再生指導官

今回の人事異動で常呂川ふれあい推進センターにお世話になることになりました岩本です。

今までと異なる仕事内容に少々戸惑っておりますが、早くなれて貴会の自然再生活動のお手伝いができるよう努力して参りますのでよろしくお願い致します。



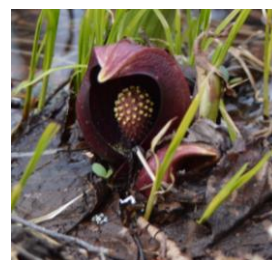
近藤 自然再生指導官

網走南部署（津別森林事務所）より移動となりました近藤です。

皆さんと一緒に汗を流し、楽しみながら森林で働き・すばらしさを分かち合いたいと思いますのでよろしくお願い致します。



4月にオホーツクの森に咲く花たち





5月予定

- ・オホーツク木のフェステバルの手伝い
日時 5月17日(金)、5月18日(土)
5月19日(日)
場所 サンドーム北見
内容 パネル展、竹とんぼづくり、
バードコールづくり(会員の皆様の手伝い、応援
を期待しています。)

- ・散策路整備・根踏(第一回活動)

日時 5月26日(日) 9:00 森の家集合

場所 オホーツクの森

申込み・他 5月23日(木)までに

下記事務局まで電話でお申し込み下さい。

(根踏とは前年秋に植樹した木はその年内に生育できないまま越冬するので、根が落ちていないので状況なので改めて根元を踏みしめること、今年は昨年ボランティア植樹した箇所をおこないます。)

6月予定

- ・日赤北海道看護大学の実習の手伝い

日時 6月7日(金)

場所 野付牛公園

ガイド募集 5月27日(月)までに

お手伝い願える方は事務局にお電話下さい

- ・育樹祭

日時 6月12日(水)(予定)

場所 オホーツクの森

申込み・他 多くの会員の皆様の参加をお待ちします。

バスが常呂川森林ふれあい推進センターからで
ます。

6月5日(水)までに

電話で、参加希望を事務局までご連絡ください。

お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-0035 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

050-3160-6321

FAX 0157-23-2472

平日8:30~12:00 13:00~17:15